

中池見湿地 - 水田・小川・周辺の森林 -



営農が行われていたころの中池見（現在はヨシ原になっている）



休耕田に咲くサワオグルマ



低山に囲まれた農地

選 定 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・県レッドデータブック掲載種（県RDB種）（ナカイケミヒメテントウ、デンジソウ、トチカガミ）の県内唯一の生息・生育地である ・県RDB種（ノジコ）の旅鳥の重要な中継地点になっている ・県RDB種が多種確認されている
---------	---

県レッドデータブック掲載種数： 60種（面積約110ha）

自然の概要	<p>周囲を低山に囲まれた湿地で、10万年の気候変動を記録した泥炭堆積物が確認されています。現在、多くの部分がヨシ原になっているものの、江戸時代から近年まで水田として利用されてきたため、稲作と結びついた多くの希少水生植物（ミズアオイ、デンジソウ、イトトリゲモ等）が生育しています。動物では、ナカイケミヒメテントウの県内唯一の生息地である他、ノジコ（鳥類）の全国的にも珍しい中継地になっています。</p>
保全すべき主な環境	<p>山田（水田および休耕田） 小川（土水路） 雑木林、草はら（土手の草むら）</p>
もっと詳しく知りたい人へ	<p>福井県のすぐれた自然植物編,p114[中池見の湿生植物群落] 福井県のすぐれた自然動物編,p439[敦賀市中池見湿地]</p>

該当地の位置



里の生き物紹介 デンジソウ（デンジソウ科）

水田など浅い水辺に生育する水草で、クローバーに似た葉をつけますが、クローバーとは別種で、シダの仲間です。名前は葉の形から、田字草とつけられたようです。かつては水田の雑草でしたが、除草剤によって激減し、県内で確認されているのは中池見湿地一か所だけになりました。

保全すべき環境に生息・生育している生物



デンジソウ
県域絶滅危惧 類
池沼、河川、溝、水田に生育



ヒメビシ
県域絶滅危惧 類
湖沼、ため池、水路に生育



ナカイケミヒメテントウ
県域絶滅危惧 類
湿原のヨシに生息



ノジコ
県域絶滅危惧 類
灌木林や山地の開けた草地や林縁を好む



アブラボテ
県域絶滅危惧 類
緩勾配の小河川の上流から中流域に生息。産卵にはイシガイ科の二枚貝が必要